

# 中央環境審議会・循環型社会計画部会 学校における環境教育の推進

平成18年11月15日

文部科学省初等中等教育局教育課程課

# 学校におけるリサイクルを含む環境教育の取組について

## 1. 学校教育におけるリサイクルを含む環境教育の位置付け

児童生徒が環境についての正しい理解を深め、責任をもって環境を守る行動がとれるようにすることは極めて重要。

小・中・高等学校を通じ、児童生徒の発達段階に応じて、社会科、理科、家庭科などの教科、道徳、特別活動、総合的な学習の時間など学校の教育活動全体を通じて環境教育が行われている。

(主な取扱い)

- |                 |                           |
|-----------------|---------------------------|
| ・環境に関する知識・理解    | 社会科、理科、家庭科などの教科、総合的な学習の時間 |
| ・環境に関する体験活動     | 特別活動、総合的な学習の時間など          |
| ・自然を大切にしようとする心情 | 道徳など                      |

## 2. 学校におけるリサイクルの実践事例

学校におけるリサイクルに関する実践事例については、以下のような取り組みがみられる。

(取り組み事例)

### A市B中学校 「プラスチック製容器包装の分別収集」

- ・特別活動(委員会活動等)
- ・各教室にプラゴミ専用容器を置き、学級でのプラゴミと一般ゴミとの分別を実施。
- ・各学級で分別状況を点検し、美化委員会で活動内容を把握  
・推進。

### C市D小学校 「菜の花プロジェクト」

- ・菜の花の栽培から菜種の収穫を行い、それからとれた食用油を、学校給食や家庭で使用。使用後の廃油を燃料として精製し、子どもの環境学習用水上船の燃料として活用という一連の活動を通じて、菜種の有効利用と資源のリサイクルを総合的にとらえる学習を実施。

### E市F中学校 「空きビン回収」

- ・総合的な学習の時間など
- ・自分でできるリサイクル活動を学び、PTAや地域の方々と協力しながら、実際に空きビン回収の実施。

# 今後の環境教育(学習指導要領の改善の方向性等)について

## 1. 学習指導要領の見直し

環境教育については、社会科、理科、生活科、家庭科、技術・家庭科、総合的な学習の時間等の学校の教育活動全体を通じて取り組まれているところであるが、特に持続可能な社会の構築が強く求められている状況も踏まえ、エネルギー・環境問題という観点も含め、さらなる充実が必要である。

審議経過報告(抄)

平成18年2月13日

【中央教育審議会 初等中等教育分科会 教育課程部会】

## 2. 教育基本法の改正案

(教育の目標)

第二条 教育は、その目的を実現するため、学問の自由を尊重しつつ、次に掲げる目標を達成するよう行われるものとする。

一～三 (略)

四 生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うこと。

五 (略)